

## 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 里山コミッション

- ・ 通常総会（開催年月日 令和4年5月30日）
  - ① 令和3年度事業報告及び収支決算について
  - ② 理事長及び副理事長の報酬額について
- ・ 第1回役員会（開催年月日 令和3年5月30日）
  - ① 令和4年度事業計画及び予算について
  - ② 会費額の改正について
- ・ 第2回役員会（開催年月日 令和4年12月11日）
  - ① UIターン者交流事業のまとめ
  - ② 地域づくりに関する町への提言について
  - ③ 令和4年度事業の進捗状況について
- ・ 第3回役員会（開催年月日 令和5年2月27日）
  - ① 令和4年度事業の執行状況について
  - ② 令和5年度事業計画について
  - ③ 町への提言報告及びその後の状況について
  - ④ 役員改選について

### 1 事業成果

設立趣旨である町内企業等の事務支援や企業や民間団体と住民をつなぐ中間支援サービスなど多様な形態での地域支援活動を継続して実施した。飯南町総合振興計画においても中間支援組織の重要性を掲げられており今一度、設立趣旨の原点に振り返り活動の2年目として、ふるさと定住財団「UIターン交流促進事業」の継続採択を受け、9か月に渡り延べ11回の討議を重ね、地域づくり・まちづくりの中間支援の在り方、方向性をまとめ飯南町長様へ「UIターン者定着支援交流事業のまとめ（町の提言）」提言書を提出した。特に、UIターン者からの要望が多かった「何かあったときの相談窓口が欲しい」「定住後のホローをして欲しい」などに対応するため令和5年4月4日「移住者等サポートセンター」を開設した。相談件数は少ないが、情報を共有し問題解決に取り組んでいる。なお、令和5年度も、ふるさと財団のこの助成事業に継続採択されることとなり提言した内容の実践に取り組むこととしている。

近年、食物アレルギーの方が多くなり10人中1人から2人からが該当するようになっている。また、健康志向の方も多くなり農薬など不使用の農産物が注目されている。これまで、春・秋に野菜栽培講習会（机上勉強会）を開催してきたが本年4月から「カラダにやさしい野菜栽培実践里山塾」を創設し、町内ほ場でジャガイモの植え

付けや野菜の種まきなどの実践を開始した。町内農家の後継者の方も参加されており、町内直売所及びiマルシェ並びに世田谷区民祭りなどで販売を計画している。

地域の暮らしを支える生活支援サービスとして墓掃除作業や空き家管理作業を行っており年々、受託件数は多くなっている。町内から撤退された事業所（工場）の物件管理、県内外所有者の家周辺の清掃など、従事者を定年退職リタイア者のスモールビジネスとして位置づけ事業PRをしている。働き手の方の不足もあることから「ご縁つなぎ」と称し、賛助会員登録による企業・個人の方へのマッチングサービスを開始した。また、これから増加する空き家の処分についてビジネスとして捉え、NPO 法人いきいきつながる会（大阪市）などと連携し進めて行くこととしている。

元熊本世田谷区長様のご尽力により友好市町村のみが参加資格のある世田谷区民祭が三年ぶりに開催され町内製品の紹介、飯南町のPRを行った。有機野菜を中心に販売をしたが即日完売となり、健康志向の高まりやアレルギー対応商品への転換などを肌で感じたところである。また、町推奨作物として取り組んでいる干し芋を持参したが、茨木県など他産地との競合もあり商品戦略を今一度、熟考する必要があると感じた。一昨年から出展している練馬区NPO法人「楽膳倶楽部」と交流イベントに参加し、飯南米を含めPR販売を行った。近郊農園からの野菜販売もあっていたが、無農薬無化学肥料栽培であり、その素材を使ったドレッシング商品など他産地との差別化が必要と痛感した。

同倶楽部は子供食堂など食育を中心にしたか活動もしておられ今後も町内食材（飯南米を含め）を提供し継続してイベント交流を行うこととなっている。広島市内のショップ（一福緑井店内）は、同ビル経営者の移管、店内改装のため昨年8月からで休館となっていたが今年3月からリニューアルオープンされ、一福様ご協力により店舗内に飯南商品の売り場を設置いただき、ブルーベリージャム・パプリカドレッシングなど特色のある飯南商品を販売させていただいている。たかのぼし商店街との交流から飯南産米の販売を商店街内で行っていただいている。牛田ほおずき祭、たかのぼし夏祭、商店街年末セールなど予定していたイベントはすべて中止となったが、たかのぼし商店街から要請のあり「GOTO 商店街イベント（コロナ禍により延期）」を実施した。JR伊丹駅構内にある「伊丹市観光物産館」での商品販売は一昨年、館の運営が市から民間組織へ移管となったが継続してとんぼら餅など購入いただいております物産館との協議により5社9品目を常時販売いただいている。

企業など町内各種団体等の支援事業は当法人の大きな自主財源となっており経理事務の支援、販路先の紹介斡旋など一層、中間支援業務を強化することとしている。

来島地区新聞配達に関して、山陰中央新報社などから人材発掘の要請があり、中間支援として配達員を当法人で確保し来島地区の新聞配達が続けられたところである。このようなケースがこれから多くなると考えられる。「地域をみんなで守る」そのリーダーとしての当法人の役割は大きくなるものとする。

最後に、三次市にある「飯南町交流物産館」の経理事務等の受託について、少し触れる。組合員からの要請があり一昨年6月から経理事務及び人事管理及び県内商品等の仕入れなどを行っている。売上は、野菜等を中心に着実に増加している。当法人は、特色ある地域農産物栽培に力を入れており、前述した「カラダにやさしい野菜栽培実践里山塾」での取り組みを土台に栽培の輪を広げるため、カラダにやさしい野菜コーナーを7月ごろに設置いただくこととした。

生命地域宣言の再構築が今こそ必要な時と考える。人口増加による食糧難、異常気象による食糧不足、サプライチェーンの崩壊による我が国への輸入量の減少など農産物栽培に適した我が地域は、その先頭に立ち、持続可能な地域イメージを発信しようではないか。令和5年も若い方々を中心に安心安全な農産物栽培や加工品開発など産業・起業お越しに取り組むたいと考える。

感染症対策など国の財政は厳しさを増すばかりであり、地方交付税に依存する割合の高い小規模自治体は行政業務のワークシェアリング化などにより経費削減を進めることとなる。その受け皿として、過疎高齢化の進む中山間地域の生活・産業振興に取り組む地域発展に寄与したいと考える。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活等支援サービス事業	生活・事務支援事業 (草刈り等22件)	4.4～ 5.3	町内	18名	30名	68 (304)
地域団体支援事業	ヤマトイモ生産組合支援事業	4.4.1～ 5.3.31	町内	事務局1名	栽培支援	20
	町民味噌加工支援事業	4.1.24～ 5.2.23	町内	加工従事者7名 事務局1名	味噌加工者 50名	407
販路拡大・産業活性化事業	イベント事業					
	① 世田谷区民祭	4.8.6,7	東京都	3名	12事業者委託	1,053
	② 練馬交流	4.11.26	東京都	2名	7事業者委託	
③ たかのぼし応援	4.12.19	広島市	2名	10事業者委託		

	④ たかのぼし祭 販売促進事業	5.1.21	広島市	2名	10 事業者委託	
	① 伊丹観光物産館	常設	伊丹市	1名	9 事業者委託	
	② 広島ショップ	常設	広島市	1名	3 事業者委託	
総務管理	経理処理事業ほか	通年		1名	2 事業者委託	946

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び人数	支出額 (千円)
	なし					